

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

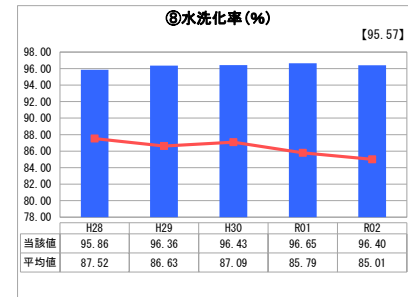
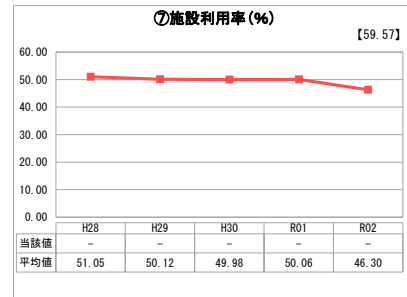
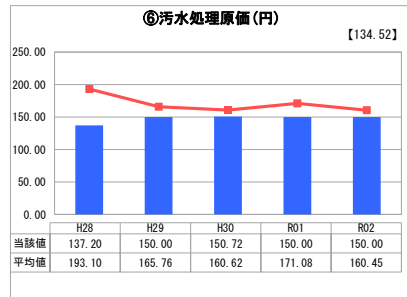
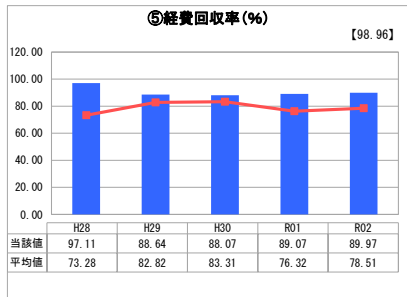
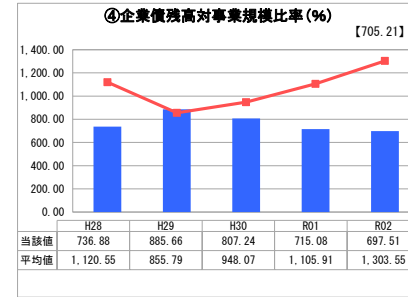
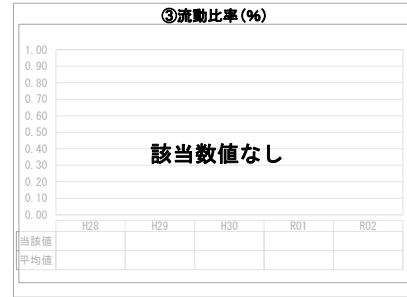
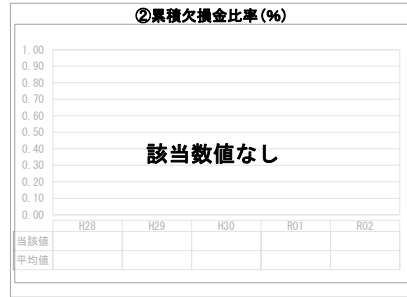
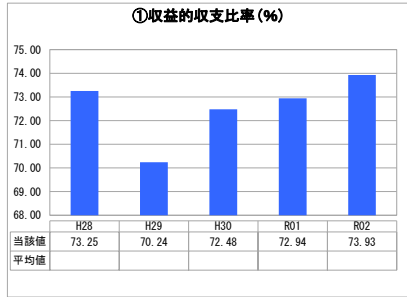
奈良県 上牧町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	95.71	87.00	2,590

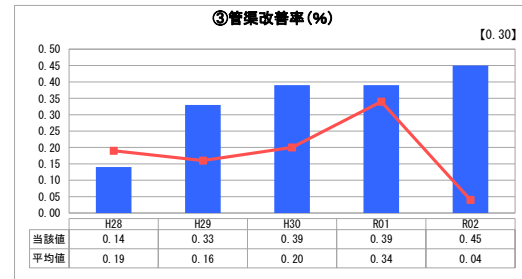
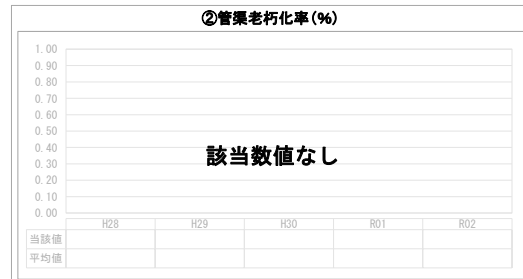
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,168	6.14	3,610.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
21,111	3.82	5,526.44

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、100%を下回っているため、今後より一層の総費用の削減及び地方債の借換え等に取り組み収益的収支比率の向上をめざし経営改善に取り組む。

④企業債残高対事業規模比率については、平成29年度において企業債残高に対する一般会計負担額の算出方法が変更したことにより増加したものの、平均値を下回っており、減少傾向である。今後は投資的事業費抑制に向けて検討する。

⑤経費回収率については、平成28年度において、97%となり、その後は減少傾向である。今後についても供用開始地区への下水道接続について、より一層の啓発指導活動に取り組み、有収量の増加を図るとともに使用料の適正化について検討する。

⑧水洗化率については、類似団体平均値と比較すると高水準であり、良好な状況が継続していると思われる。今後も未整備地区の事業推進及び整備完了地区について下水道への接続の啓発指導を行い、下水道使用料・有収水量の確保に努める。

### 2. 老朽化の状況について

昭和55年度より事業開始しており、かなりの年月が経過し、その対策として下水道ストックマネジメント計画に基づいて管渠の改築整備を行っており、令和2年度は約110mの整備が完了している。順次実施予定である。

## 全体総括

経営健全化の一環として使用料金改定の検討及び地方債残高を減少させるべく各年度の投資事業費を削減し、公共下水道事業については順調に進捗しており、今後も未接続家屋への啓発指導を進め水洗化人口の増加を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。